

2020年7月26日（日）

主 題：「愛にあって成長しましょう」

—主のいつくしみで—

テキスト：第1 ペテロの手紙2章1～3節

はじめに

・『例 話』

最近ですが、私は幸いな本を読みました。本の題名は“こころの解放”（原題(Emotionally Free)です。著者はカナダのGrant Mullen, MD（グラント・マレン医学博士）です。

- ・マレン博士は今も現役のクリスチャン精神科医師ですが、身体、精神・霊の癒しについて書いています。じつは外面的には理想的カップルとされていました。夫は精神科医師、妻は教会で婦人会は教会学校のリーダーで指導者でした。
- ・ところがマレン博士は「うつ病」にかかり、妻も夫との夫婦生活に疲れ、離婚寸の事態にまで進みました。彼らはクリスチャンで教会に通っていました。しかし、2人の心には平安がありませんでした。そんな時に、真の「キリストの福音」に触れて癒されたのでした。夫人もこの本の中で、離婚に進んだプロセス（心の葛藤）を正直に書いています。ですからご夫妻の共著と言えましょう。
- ・マレン博士は多くのクリスチャンの心の苦悩を観察し、またご自身の「うつ病」、「不安」、「気分変動」を経て、こころの束縛を解放する「3つの鍵」を発見しました。それは人間関係において、喜びにあふれた人生を送るための鍵です。精神科医として、真に「キリストの福音」にふれた事実を著書で明らかにしました。
- ・なによりも「キリストの福音」によって、私たちはこんなにも心が解放され、病んでいる心が解放されることを再確認し、私も喜びと感謝に包まれたのでした。箴言のみことばを思い出しました。

15:13 喜んでいる心は、顔色を良くする。心の痛みの中には、打ちひしがれた霊がある。

- ・皆さん。「キリストの福音」、それは天の御使いでさえはつきりと見たいと願ったほどのものです。ペテロ第1の手紙1章には、次のように書かれています。

1:12 御使いたちもそれをはつきり見たいと願っています。

- ・ところで、ペテロは2章1節の冒頭で、「ですから」と書きました。それは1章の終わりで述べたことを受けています。前回、「エリコのバラ」のお話しをしましたが、まだ覚えておられるでしょうか。枯れたようなバラですが、水を与えると、なんと発芽し、成長し、そして美しい花を咲かせてくれます。同じように聖書の言葉は、信仰がない方には枯れたバラ（花）のようです。
- ・しかし、信仰を持つ人にとっては、隠された宝があります。

聖書は次のように述べています。1コリント1章

1:18 十字架のことばは、滅びる者たちには愚かであっても、救われる私たちには神の力です。

- ・神のことばである聖書には、じつに幸いな宝が秘められています。そこで、ペテロは新しく生まれたいのちが育っていく大切さを述べました。どんな親であっても、普通は子どもが成長し

立派な大人となってくれることが願望です。しかし、現実にはさまざまな困難があります。

- ・今日のテキストにおいて、ペテロはその大切なポイントを語っています。

2点

大切なポイント

1. 成長の必要性

1) 成長の条件

2:1 ですからあなたがたは、すべての悪意、すべての偽り、偽善やねたみ、すべての悪口を捨てて、 I ペテロ

- ・ペテロはここで、大切なことを述べています。それは成長に必要な条件の第1は、捨てることから始まることです。成長を妨げているものがあれば、それを捨てることは大事です。では、何が成長を妨げているのでしょうか。
- ・ペテロは、私たちが犯しやすい妨げとなるもの（罪）をリストアップしました。「すべての悪意、すべての偽り、偽善やねたみ、すべての悪口」
注意してよむならば、これらはすべて複数形で書かれています。そして、「すべて」という言葉が3回繰り返されています。ここに妨げとなる障害物の大きさが分かります
- ・私たちの心の中には、こうしたものがあることは事実でしょう。しかも多くあるのです。それらを徹底して捨てて行くことが必要です。
- ・皆さん。クリスチャンになっても、だれかに対して「悪意」を抱くことがあるかもしれません。「偽り」があるかもしれません。「偽善やねたみ」があるかもしれません。あるいは本人のいないところで、だれかの「悪口」を言うことがあるかもしれません。それは聖職者であっても、あるかもしれません。
- ・もし、自分の内に悪意、偽り、偽善、ねたみ、などがあることに気づいたならば、正直に主イエス様に申し上げ、助けていただくことです。また悪口を言いたくなるようになったら、同じく正直にイエス様に申し上げることです。告白し、赦していただくことです。助けていただくことです。
- ・私たちはイエス様の十字架のおかげで、罪が赦されました。十字架上で流れた御血が、その罪を洗いよめてくださいます。

第1ヨハネの手紙1章

1:9 もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。

- ・聖霊は私たちを、新しくしてくださいました。そして神の子としてくださいました。それはただ、神の恵みです。しかしそれで、すべてが変わったわけではありません。私たちの内には罪深い自己中心的な自分（エゴ）が存在しています。聖書はそれを「肉」と呼んでいます。
- ・皆さん！ 私たちの肉にはこれらのすべてが内にあり、成長を妨げているのです。しかし、それを捨てることによって、一步一步、イエス・キリスト様に似た者に変えられて行くことが必要です。成長に必要な第1ステップは、「捨てる」ことです。
- ・すなわち、私たちが成長できるか否かの第一の条件は、これらの肉の性質を捨てることにかかっ

ています。

2) 霊の乳を求めること

2:2 生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、霊の乳を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです。1ペテロ

- ・成長に必要な第2のポイントは、乳を飲むことです。それは霊の乳のことで、生まれた赤ちゃんは、お母さんのおっぱいにしぼりつきます。同じように、私たちは、霊の乳を求めていくことが成長の鍵です。
- ・クリスチャン生活を何年も、何十年も続けていると「もう分かっている」と思ってしまう危険性があります。しかし現実とは違います。どれほど長くクリスチャン生活を続けていても、「もう必要はない」ということはありません。いつも新鮮です。
- ・長いクリスチャン生活を続けている方が、クリスチャンらしくない言葉や、クリスチャンとしてふさわしくない態度を取ることがあります。クリスチャン生活は年数ではありません。どれだけ乳を飲み、成長しているかです。それが成長のための第2の条件であります。

{例 話} Viktor Klimenko

- ・私が尊敬するフィンランドの福音歌手Viktor Klimenko氏は、忘れることができない方です。彼は今も、セキユラーで現役歌手として活躍しています。
- ・旧ソ連が崩壊した1993年の夏、私はシベリア伝道に行きました。極寒の地シベリヤには、かつて多数の囚人が入れられた収容所がありました。現在ではそこに多数のクリスチャンたちが住んでいます。私たちは大きな川に沿って船で町々を訪ね、集会を持ちました。その時、Viktor Klimenkoも一緒でした。彼が行く所はどこでも、会場は満席となりました（恐らく会衆は一千人以上は？）
- ・彼が賛美をし始めると会場のあちこちから、すすり泣きの声が聞こえてきました。ロシア語に堪能な彼の賛美は、会衆の心に深く入り響いていました。毎回、多数の人々がイエス様を信じ、従う決心をした幸いな集会でした。私にはその印象があまりに強く、今でも鮮明に覚えています。
- ・ある時、私は彼に尋ねました。彼の賛美する持ち歌（曲）はいつも同じ曲でした。しかし、毎回新鮮に響いたのでした。私はその秘訣はどこにあるのか知りたく思いました。もし牧師が毎回同じメッセージをしていたならば、果たして会衆にあれほどの新鮮な感動を与えることができるだろうかと思いました。
- ・すると彼はこう答えてくれました。「私は賛美をするたびに、1つのテーマ決めます。そして、それに従って曲を配置し、全体を構成し賛美するのです。」そして彼は、「私はこれらの曲をすでに1千回以上は賛美しているが、いつも新鮮です。」と言われました。1千回以上も賛美し、いつも新鮮？ 私は、その秘訣はどこにあるのかと思いました。
- ・結論は、Viktor Klimenkoの器にあることが分かりました。彼は、みことばを「もう分かっている」という姿勢ではなく、神様の前に常に謙遜な祈りを捧げていました。霊の乳であるみことばによって成長された器を、目前で見せていただいた祝福の時でした。

2:2 生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、霊の乳を慕い求めなさい。

ここに、「純粋な、霊の乳」とあります。注意が必要です。もし、母乳に不純なものが入ってい

たら大変です。乳は母体が摂取するものが乳となりますから、母親が酒を飲んでいたら赤ちゃんも飲むこととなります。

- ・しかし、聖書のことばは「**純粋な、霊の乳**」です。これほど安心できるものは他にありません。安心して飲むことができます。私たちを霊的にしっかり育ててくれるものです。
- ・愛する皆さん！私たちには、「**純粋な、霊の乳**」が与えられているのですから、それをいただくことが、成長につながるのです。では、霊の乳であるみことばを慕い求めることによって、どうなるのでしょうか。

2. 成長の結果

1) 救いを得る

2:2 生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、霊の乳を慕い求めなさい。

それによって成長し、救いを得るためです。

- ・ここに、「**それによって成長し、救いを得るためです。**」とあります。成長して、それで救われと理解されるかもしれませんが、そうではありません。ここで言われている「救い」は、救いの恵みを豊かに体験していくことです。
- ・ドイツ語ルター訳聖書は、「救い」という言葉を時には「祝福」と訳していますが、分かりやすいです。ここでは魂の救い（独語 Heil）ではなく、試練の中で助けだされる場合の「救い」（独語：Rettung）という表現が使われています。助けられることによって、さらに成長へとつながるのです。
- ・人はイエス様を信じて、罪が許され救われます。そして信じた人の証しとして、洗礼を受けてクリスチャン生活はスタートします。それは救いの経験の第1歩であります。それから、毎日の生活の中で、みことばによって助けられ成長する経験をしていきます。それが、ここで言う「**救いを得る**」という意味です。
- ・これまで、自分のことしか考えなかった人が、みことばの乳をいただくことによって、成長させていただけけるのです。なんとという幸いではありませんか。
- ・人が神様によって成長させていただき、きよい心で互いに愛し合うことができるようになります。イエス様が与えてくださる霊の乳は、不純物のないものです。1ペテロの手紙2章は次のように述べています。

2:22 キリストは罪を犯したことがなく、その口には欺きもなかった。

2) 成長への励まし

- ・ペテロは、クリスチャン生活が祝福を受ける条件を2点上げた次に、3節でこのように述べました。

2:3 あなたがたは、主がいつくしみ深い方であることを、確かに味わいました。

- ・この文章は条件文と呼ばれるものです。条件文というのは、「もし・・・味わっているならば」というのが条件文です。味わっているかどうか分からないけれども、もし味わっているならば、という意味ではありません。すでに主がいつくしみ深い方であることを味わっているのですから、という条件です。
- ・ですから、はじめに「**なぜなら**」と置くこともできるかと思えます（独語ルター訳はそのようになっています）。そうです。すでに神はいつくしみ深い方であることを、味わったのですから、

もっと味わうように、もっと経験するようにと励ましています。

- ・ 私たちも自分の人生を振り返るならば、未熟で、さまざまな問題を抱え、自分の中には多くの弱さや、罪の現実があることを知っています。しかし、それでも何らかの形で、私たちは主様のあわれみ、いつくしみを経験しているのではないのでしょうか。
- ・ ですからこの3節は、もっともっと味わいましょう。経験しましょう。という意味であります。クリスチャン生活は、こんなものだと。別にそれほど熱心にならなくても、ほどほどで良いのではないか。変わらなくても良いのではないか。と思わないでください！
- ・ 神は私たちの心を変えてくださいます。私たちの人格を変えてくださるお方です。ですから、「**すべての悪意、すべての偽り、偽善やねたみ、すべて悪口を捨てて、生まれたばかり乳飲み子のように、純粋な乳を慕い求めて**」行きましょう。

ま と め

主 題：「愛にあって成長しましょう」

—主のいつくしみで—

- ・ 私たちは幸いな「キリストの福音」によって、救われ喜びの人生を送ることは、神様の祝福です。しかしながら、クリスチャンと言っても自分と戦い苦しんでいる方がおられます。今も葛藤の中におられるかも知れません。
- ・ しかし、大丈夫です。イエス様は、そんな弱い者のために十字架におかかり下さいました。そして私たちが神の子として成長することを心から願っておられます。
- ・ 神様は今日のメッセージを通して、そんな私たちに大切なことを語って下さいました。その秘訣はどこにあるのでしょうか？
 1. 罪を取り除くこと
 2. 純粋な霊の乳をしたい求め飲むこと

* God bless you !